

■景域に含まれる支庁及び市町村

十勝支庁 帯広市・音更町・幕別町・芽室町・士幌町・清水町・足寄町・陸別町・中札内村・更別村・本別町
浦幌町・池田町・豊頃町・広尾町・大樹町・忠類村・新得町・鹿追町・上士幌町

■景域を構成する景観ゾーン

④①利別川流域田園景観ゾーン ④②十勝平野田園景観ゾーン ④③十勝太平洋沿岸湾岸景観ゾーン
④④日高山脈自然景観ゾーン

■景域における現況

| 観点 要因・背景 | 自 然 | 田 園 | ま ち | 広域湾岸景観・広域沿道景観・広域流域景観 (自然・田園・まちの関係性) | 北 国 ら し さ の 創 出 (その他・活動等) |
|--------------------------------|--|--|---|--|---|
| 場所的要因 位置 地形 植生 | ○十勝川水系は、広範囲に分岐して広がって河岸段丘をつくり、河岸段丘をつくり、川沿いの斜面に河畔林の緑が連続している ○日高山脈を源にしている河川は、清流が多い | ○十勝平野の平坦地に、日高山脈、大雪山を背景にした格子状の大区画農地と防風林の田園風景が広がる ○十勝川水系の河川中上流域では平坦地の畑と丘陵部の牧場があり、農村集落と散居型の農家が点在している | ○地域中核都市としての帯広は、音更、幕別、芽室などの隣接町とほぼ連担して市街地景観を形成している ○十勝平野には、田園地帯に取り囲まれた農村集落が点在している ○池田・本別などは利別川流域沿いに市街地が点在している ○川との関係 | | |
| 空間構成的要因 広がり 土地利用 まとまり | | ○平野部に比べて、山間部では小規模な田園景観となっている | ○帯広を中心として、四方に伸びている主要幹線道路やJRを軸として、農村集落が繋がっている ○帯広の中心部は都市的景観を形成している | ○十勝川とその支流による流域平野と河岸段丘の緑の連続性が地域景観の骨格となっている | |
| 人文的社会的背景 産業経済 生活文化 | ○太平洋沿岸部では、海岸線沿いに湿原や河跡湖が連なっている ○十勝平野では、カシワを中心とした雑木林が残されている | ○日本有数の大規模経営の農協が雄大な田園景観をつくり出している ○営農形態の変化に伴い、防風林の消失が危ぶまれる ○多くの移住者が地域の環境景観づくりに重要な役割を果たしている | ○池田町はワインづくりを核としたまちづくりが行われている | ○帯広空港は、この地域の玄関口として、本州ともつながっており、多くの観光客が訪れる ○十勝港は、フェリーターミナル、大型機械などがあり、産業景観を形成している | ○アグリツーリズム、ホーストレッキング等の広域的な取り組みがあり、絵になる風景が育ちつつある |
| 時間的歴史的背景 歴史性 季節 時間 | ○忠類や足寄にはナウマン象などの化石や遺跡があり、それをテーマとした記念館が整備されている | ○民間開拓による農地開発の歴史があり、その名残が見られる | ○開拓によって、計画的につくられたまちの骨格が残っている ○郊外の部のスプロールが進行しつつある | | ○「帯広の森」「十勝の森」などの森づくりの活動が活発である ○近年では、十勝型ランドワークトラスト運動が見られる |
| 典型的景観資源 | ○日高山脈 ○大雪山 ○札内川 ○雁舟川 ○十勝川 ○利別川 ○えりも百人浜 ○太平洋海岸線(広尾海岸・生花苗沼) ○狩勝峠 ○日勝峠 ○音更川 ○オンネトウ | ○十勝平野・大区画農地と防風林、散在する農家 ○利別川流域に広がる田園地帯 ○士幌高原 | ○帯広市の都市的広がり ○帯広市隣接の新興住宅街と沿道商業施設 | ○ファームインの農家 ○玄関口としての役割を果たす拠点 ・帯広空港 ・十勝港 ○広域軸としての役割を果たす沿道・沿線 ・JR 根室本線 ・国道 38 号 | ○帯広の森・十勝の森 |

■景域の景観特性・課題・景観づくりの取り組み方向

| 観点 要因・背景 | 自 然 | 田 園 | ま ち | 広域湾岸景観・広域沿道景観・広域流域景観 (自然・田園・まちの関係性) | 北 国 ら し さ の 創 出 (そ の 他 ・ 活 動 等) |
|---------------------------|---|---|--|---|--|
| 景 域 の 景 観 特 性 | <ul style="list-style-type: none"> ○生活空間の身近に、清流で河畔林が生い茂る河川(十勝川、札内川、音更川)が流れ、地域のシンボルとなっている ○東大雪には、針広混合林の森林湖沼などがあり、季節ごとに様々な風景を楽しむことができる ○太平洋沿岸部には、海跡湖が集中し、またカシワ林なども広がり、平野部では見られない風景が広がる | <ul style="list-style-type: none"> ○広大な十勝平野に展開する幾何学模様の農地の広がり ○広大な農地には、耕地防風林や農業施設が見られ空間的にアクセントをつけている | <ul style="list-style-type: none"> ○十勝川を軸として、国道、JRなどにより市街地が連担している帯広都市圏の広がり ○池田、本別などの山間に展開する市街地は利別川によってつながっており、田園部に囲まれている | <ul style="list-style-type: none"> ○帯広都市圏の市街地の背景には、屏風のような日高山脈と大雪山の山並みが見られ、地域のランドマークとなっている ○市街地の郊外では、畑地の背景に日高山脈が連なり、奥行き感のある(領域性が感じられる)空間となっている | <ul style="list-style-type: none"> ○ファームイン、ファームステイ、アグリツーリズムなど、農業の振興に関わる取り組みが活発である ○帯広の市街地を取り囲む森づくりが実を結び、十勝全域の森づくりと発展している |
| 景観づくり の 課 題 | <ul style="list-style-type: none"> ○地域周辺に位置する原生的自然景観の特徴を生かした景観形成 ○自然林の景観的保全等自然林の景観的保全等 ○流域景観としての配慮橋梁、護岸、堤等の土木建築と周辺景観との調和、河畔林、河岸段丘沿いの緑の保全 | <ul style="list-style-type: none"> ○大規模農業化に伴って姿を変えつつある耕地防風林の保全 ○遠望される大型農業施設の景観的配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○地域中心部の都市的景観、中間部の田園景観・農村景観の対比と調和を意識した景観整備 ○大規模営農を背景としたおらかな農村集落の修景 ○拠点都市帯広から沿道沿いに伸びる郊外型商業地の景観形成 | <ul style="list-style-type: none"> ○環大雪の広域的な連携性の強化 | <ul style="list-style-type: none"> ○農業と観光の連携した(体験型農業、食べ物による魅力づけ等)アグリツーリズムの振興 ○市街地のスプロールを制御するグリーンゾーンとしての森づくりの継続 |
| 景観づくり の 取 り 組 み 方 向 | <ul style="list-style-type: none"> ○市街地の中を流れる十勝川、札内川、利別川など清流と流域沿いに見られる河岸段丘斜面の森をまもる | <ul style="list-style-type: none"> ○十勝平野に広がる大区画の畑地と耕地防風林が織りなす営農風景に配慮した農家施設などの環境をととのえる | <ul style="list-style-type: none"> ○十勝川流域に連なる田園に囲まれた帯広都市圏において森のネットワークと協調した市街地景観整備を行う | <ul style="list-style-type: none"> ○市街地や田園の背景に見える日高山脈や大雪山系への眺望に配慮した沿道景観づくりをすすめる | <ul style="list-style-type: none"> ○都市農村交流型拠点づくりを共通のテーマとしてアグリツーリズム、ファームインなどに取り組んだ十勝型ランドワークの景観づくりをすすめる |